

科目名 「 歯内療法学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	岡部 達

単位数	1
学習目標 (G I O)	歯内療法学は歯の硬組織疾患から継発して起こる歯髄および根尖性歯周疾患を対象として、その予防と治療を行うことを目的としている。疾患と治療法を関連付けて理解するためには、歯内療法学の基本概念、各種処置法の目的、術式、使用器具、使用薬剤等の基礎的事項を習得し、さらに歯科衛生士としての歯科臨床に必要な知識を育成する。
担当教員	岡部 達
教科書	最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患「保存修復学・歯内療法」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考図書	第3版 「エンドドンティクス」 須田 英明他 永末書店
評価方法 (E V)	定期試験ならびに出席、授業態度等により総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯髄および根尖性歯周疾患は腫れや痛みを伴うことが多く、患者さんにとって非常に辛い疾患であり、またその疾患に侵された歯を保存し機能させるための基本となる学問です。日常臨床においても頻繁に行われる治療法であり、後期から始まる臨床実習に向けて積極的に学んでいきましょう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/9	歯内療法の目的	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の補助ができるようになるために、歯内療法の目的について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①臨床歯科医学における歯内療法の位置づけを説明できる。 ②歯内療法学の目的を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。・50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達
第2回 4/16	歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の補助ができるようになるために、歯・歯髄の構造と機能について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ①歯髄の構造と機能を説明できる。 ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。・50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡部 達

<p>第3回 4/23</p>	<p>歯内療法で扱う疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周疾患について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄疾患について説明できる。 ②根尖性歯周疾患について説明できる。 ③歯髄疾患、根尖性歯周疾患の臨床症状について説明できる。 【準備学習項目・時間】 一般炎症の徴候を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第4回 5/7</p>	<p>歯髄保存療法(1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄保存療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄保存療法の適応症を説明できる。 ②歯髄鎮静法の術式・薬剤を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第5回 5/14</p>	<p>歯髄保存療法(2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄保存療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄保存療法の適応症を説明できる。 ②覆髄法の術式・薬剤を説明できる 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第6回 5/21</p>	<p>歯髄除去療法 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄除去療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄除去療法の適応症を説明できる。 ②生活歯髄切断法の術式・薬剤を説明できる。 ③生活歯髄切断法の治癒機転を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第7回 5/28</p>	<p>歯髄除去療法 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯髄除去療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯髄除去療法の適応症を説明できる。 ②抜髄法の術式・薬剤を説明できる。 ③抜髄法の治癒機転を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎の徴候を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>

<p>第8回 6/4</p>	<p>感染根管治療</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、感染根管治療について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①感染根管の成立について説明できる。 ②感染根管治療の目的について説明できる。 ③感染根管治療に用いる薬剤について説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第9回 6/11</p>	<p>根管充填</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、根管充填について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①根管充填の目的を説明できる。 ②根管充填の術式を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第10回 6/18</p>	<p>根未完成歯の歯内療法</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、根未完成歯の歯内療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①根未完成歯の特徴を説明できる。 ②アペキソゲネシスを説明できる。 ③アペキシフィケーションを説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第11回 6/25</p>	<p>外科的歯内療法</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、歯内療法における偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法における偶発症の種類を説明できる。 ②歯内療法における偶発症の対応法を説明できる 【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第12回 7/2</p>	<p>歯内療法における偶発症</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の治療補助ができるようになるために、歯内療法における偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法における偶発症の種類を説明できる。 ②歯内療法における偶発症の対応法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>

<p>第13回 7/9</p>	<p>歯内治療を行うための前準備</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法を行うための前準備について理解する 【行動目標 (SB0s)】 ①ラバーダム防湿法の目的を説明できる。 ②ラバーダム防湿法に用いる器具法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 歯髄・根尖性歯周疾患の原因について説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第14回 7/23</p>	<p>歯内療法に用いる器具・薬剤 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法に用いる器具・薬剤について理解する 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法で用いる器具の種類と管理法を説明できる。 ②歯内療法で用いる薬剤の種類と管理法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 器具の消毒・滅菌法を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>
<p>第15回 7/24</p>	<p>歯内療法に用いる器具・薬剤 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法の診療補助ができるようになるために、歯内療法に用いる器具・薬剤について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ①歯内療法で用いる器具の種類と管理法を説明できる。 ②歯内療法で用いる薬剤の種類と管理法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 器具の消毒・滅菌法を説明できる。・50分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡部 達</p>